

2019年3月期 決算説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 … P.3
- 2) 営業利益の増減要因 … P.4
- 3) セグメント別売上高・営業利益 … P.5

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 … P.8
- 2) 設備投資他 … P.14
- 3) 2019年3月期 配当について … P.15

3 2020年3月期 業績予想

- 1) 2020年3月期 業績予想 … P.17
- 2) 事業環境認識 … P.18
- 3) セグメント別売上高・営業利益 … P.20
- 4) 海外地域別売上高 … P.21
- 5) 設備投資他 … P.22

4 2020中期経営計画 進捗状況

- 1) 2020中期経営計画 概要 … P.24
- 2) 国内事業 … P.26
- 3) 海外事業 … P.32
- 4) 新事業 … P.42

参考資料

- ・2019年3月期 決算関連 … P.48
セグメント別売上高・営業利益
損益計算書・包括利益計算書
貸借対照表
キャッシュフロー計算書
- ・2020年3月期 業績予想 … P.52
セグメント別売上高・営業利益(半期)

1 2019年3月期
連結業績の概要

売上高

金融市場、流通・交通市場での販売が増加し、前期に比べ増収。

営業利益

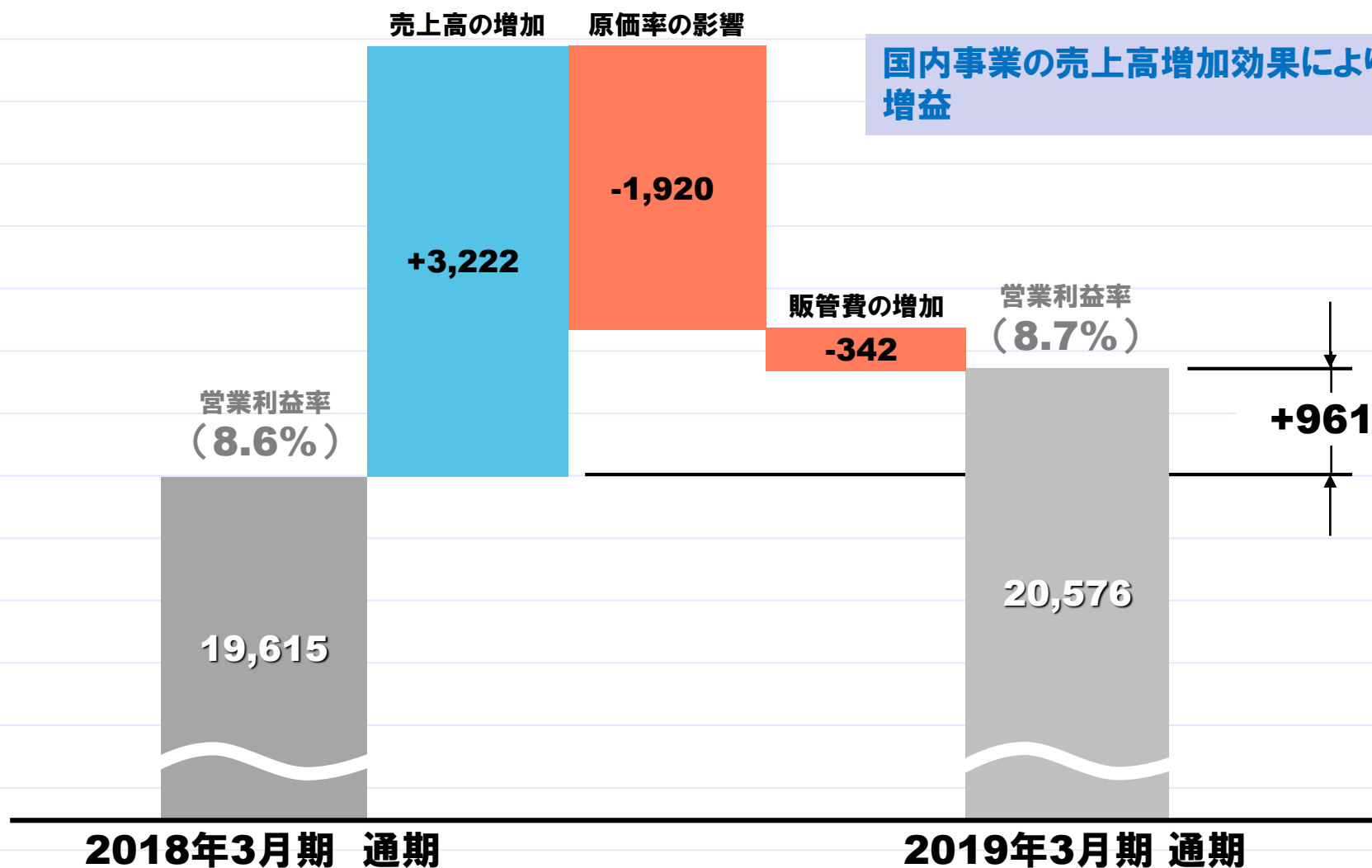
売上高増加の効果等により、前期に比べ増益。

(百万円)	2018年3月期		2019年3月期		前期比
	通期	売上高比率	通期	売上高比率	
売上高	227,361	100.0%	235,762	100.0%	+3.7%
保守売上高	67,677	29.8%	68,197	28.9%	+0.8%
営業利益	19,615	8.6%	20,576	8.7%	+4.9%
経常利益	17,553	7.7%	20,575	8.7%	+17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,892	4.4%	12,256	5.2%	+23.9%
※ EBITDA	32,987	14.5%	33,144	14.1%	+0.5%
為替 レート	ドル	111 円	111 円		
	ユーロ	130 円	128 円		

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

営業利益 増減要因

単位:百万円



(百万円)	売上高			営業利益		
	2018年3月期	2019年3月期	前期比	2018年3月期	2019年3月期	前期比
	通期			通期		
海外市場	106,758	103,287	-3,471 -3.3 %	11,167	8,761	-2,406 -21.5 %
金融市場	53,970	56,636	+2,666 +4.9 %	4,043	6,764	+2,721 +67.3 %
流通・交通 市場	43,216	51,985	+8,769 +20.3 %	3,476	4,611	+1,135 +32.7 %
遊技市場	20,570	20,511	-59 -0.3 %	1,331	1,959	+628 +47.2 %
その他	2,845	3,341	+496 +17.4 %	-403	-1,521	-1,118 - %
合計	227,361	235,762	+8,401 +3.7 %	19,615	20,576	+961 +4.9 %

(百万円)	売上高			営業利益		
	2019年3月期 通期		予想比	2019年3月期 通期		予想比
	予想	実績		予想	実績	
海外市場	107,500	103,287	-4,213 -3.9 %	8,200	8,761	+561 +6.8 %
金融市場	57,000	56,636	-364 -0.6 %	6,500	6,764	+264 +4.1 %
流通・交通 市場	52,000	51,985	-15 -0.0 %	4,800	4,611	-189 -3.9 %
遊技市場	20,000	20,511	+511 +2.6 %	2,000	1,959	-41 -2.1 %
その他	3,500	3,341	-159 -4.5 %	-1,500	-1,521	-21 - %
合計	240,000	235,762	-4,238 -1.8 %	20,000	20,576	+576 +2.9 %

※予想は2019年2月6日公表値

2 2019年3月期
連結業績の詳細

米国での販売が低調

百万円	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	前期比
売上高	106,758	103,287	-3,471 -3.3 %
構成比率	47.0%	43.8%	-3.1 pt
営業利益	11,167	8,761	-2,406 -21.5 %
構成比率	56.9%	42.6%	-14.4 pt
営業利益率	10.5%	8.5%	-2.0 pt

業績のポイント

- 金融市場向け
 窓口用紙幣入出金機 → 欧州で販売増
- 流通市場向け
 紙幣硬貨入出金機 → 米国で販売減

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

主要製品



紙幣入出金機
RBGシリーズ



紙幣硬貨入出金機
CI-100シリーズ



紙幣整理機
UWシリーズ

(百万円)	2018年3月期	2019年3月期	前期比	
	通 期			現地通貨ベース
米州	39,008	36,728	-2,280 -5.8 %	-5.9%
欧州	45,063	43,140	-1,923 -4.3 %	-3.4%
アジア	13,755	14,757	+1,002 +7.3 %	-
中国	5,912	5,578	-334 -5.6 %	-4.5%
OEM	8,930	8,661	-269 -3.0 %	-3.0%
合 計	106,758	103,287	-3,471 -3.3 %	-

- 米 州 … 金融市場/リテール市場向け主要製品の販売が低調。
- 欧 州 … 金融市場向け製品の販売が好調。
- アジア … 金融市場向け製品の販売が堅調。
- 中 国 … 金融市場向け製品の販売が低調。
- OEM … ATM用紙幣入出金ユニットの販売が好調。

オープン出納システムの販売増により利益率が上昇

百万円	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	前期比
売上高	53,970	56,636	+2,666 +4.9 %
構成比率	23.7%	24.0%	+0.3 pt
営業利益	4,043	6,764	+2,721 +67.3 %
構成比率	20.6%	32.9%	+12.3 pt
営業利益率	7.5%	11.9%	+4.5 pt

業績のポイント

☑ オープン出納システム

→ 標準タイプを中心に販売増

☑ 窓口用紙幣硬貨入出金機

→ 更新需要を捉え販売増

セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への
販売・保守

主要製品



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用
紙幣硬貨入出金機
RBシリーズ



多能式紙幣両替機
ENシリーズ

主要製品の販売は好調

百万円	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	前期比
売上高	43,216	51,985	+8,769 +20.3 %
構成比率	19.0%	22.0%	+3.0 pt
営業利益	3,476	4,611	+1,135 +32.7 %
構成比率	17.7%	22.4%	+4.7 pt
営業利益率	8.0%	8.9%	+0.8 pt

業績のポイント

☑レジつり銭機

→ CVS向けなどの販売が好調

☑売上金入金機

→ 警備輸送会社向けの販売が堅調

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社、たばこメーカー、病院、自治体等への販売・保守

主要製品



レジつり銭機
RT/RADシリーズ



売上金入金機
DSSシリーズ



小型入金機
DS-Nシリーズ

主要製品の販売は堅調

百万円	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	前期比
売上高	20,570	20,511	-59 +47.2 %
構成比率	9.0%	8.7%	-0.3 pt
営業利益	1,331	1,959	+628 +47.2 %
構成比率	6.8%	9.5%	+2.7 pt
営業利益率	6.5%	9.6%	+3.1 pt

業績のポイント

☑カードシステム

→ 更新需要を捉え堅調

☑賞品保管機

→ 更新需要を捉え好調

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



管理ターミナル



カードユニット



カード精算機



賞品保管機
JKシリーズ

新事業の早期事業化に向けた投資を推進

百万円	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	前期比
売上高	2,845	3,341	+496 +17.4 %
構成比率	1.3%	1.4%	+0.1 pt
営業利益	-403	-1,521	-1,118 - %
構成比率	-	-	- pt
営業利益率	-	-	- pt

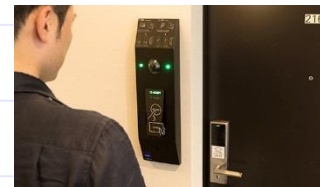
業績のポイント

- ☑ 新事業部門へ戦略的投資
 - ➡ 人的リソースの投入
 - ➡ 実証実験 など

セグメントの概要

4つの報告セグメントに属さない販売・保守

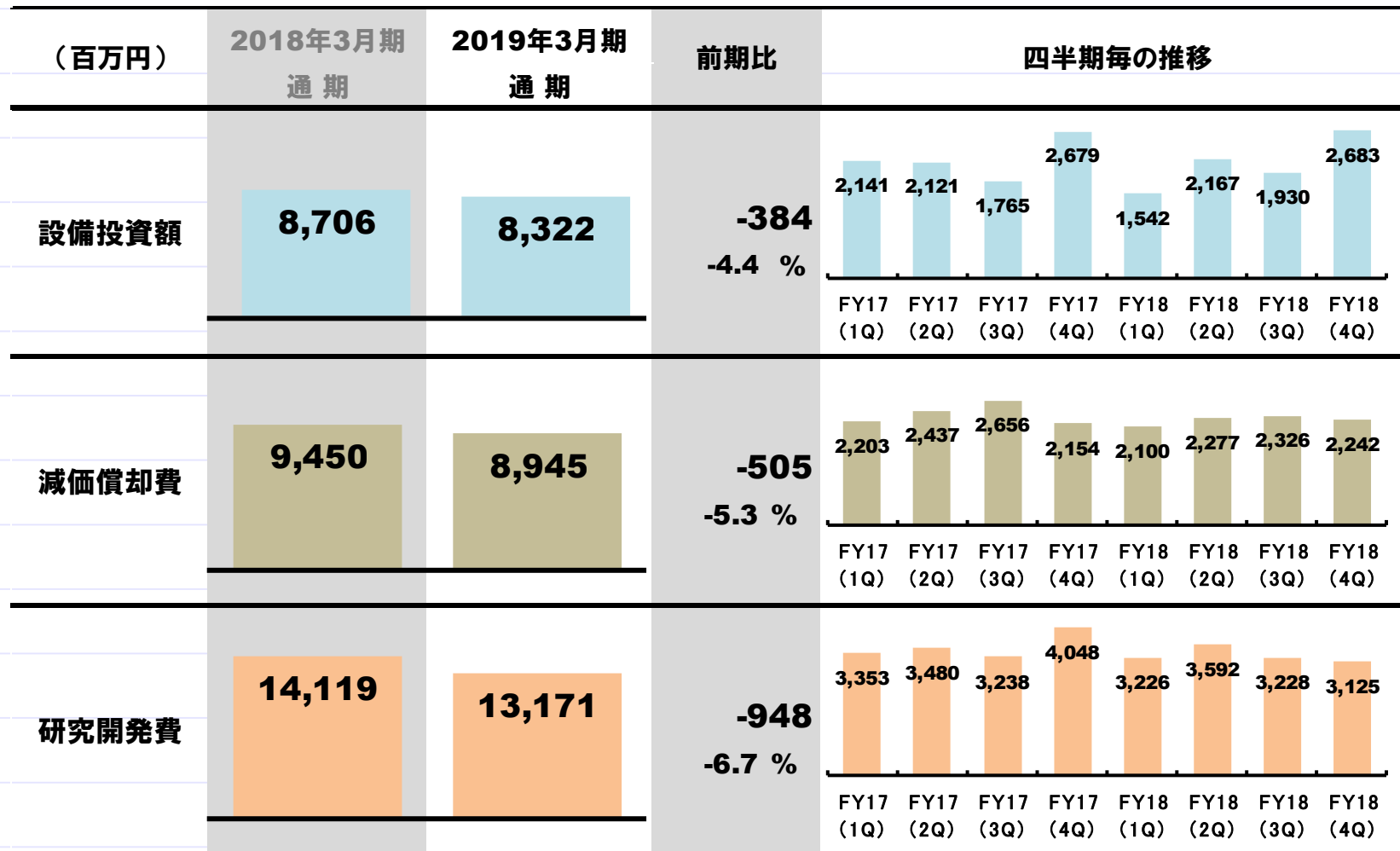
主要製品・事業



顔認証システム



ロボットSI事業



利益配分に関する基本方針

将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針とし、

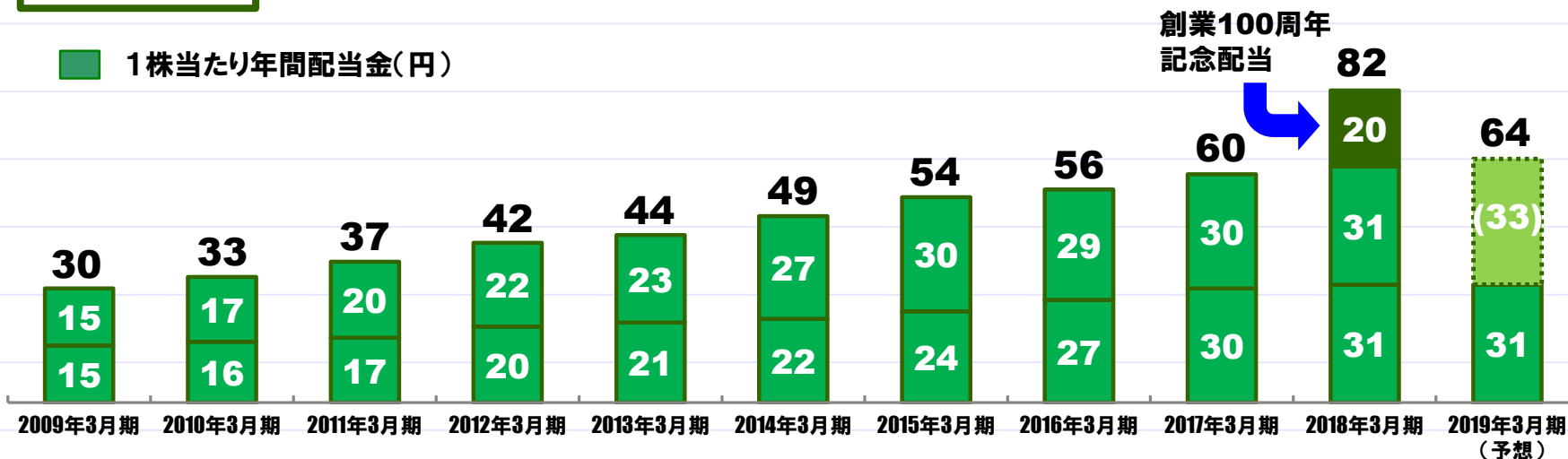
連結配当性向30%以上を目標に、配当を実施することとしております。

	第2四半期末	期末(予定)	年間(予定)
1株当たりの配当金	31円	33円	64円 (配当性向32.2%)

※期末配当につきましては、2019年6月21日開催予定の第73回定時株主総会に付議する予定です。

配当金の推移

■ 1株当たり年間配当金(円)



3 2020年3月期 業績予想

売上高

海外市場の販売は増加するが、国内大口案件の反動などにより、前期に比べ減収を予想。

営業利益

国内主要製品の販売減少や新事業への継続的投資により、前期に比べ減益を予想。

(百万円)	2019年3月期		2020年3月期		前期比
	通期	売上高比率	通期 予想	売上高比率	
売上高	235,762	100.0%	230,000	100.0%	-2.4%
保守売上高	68,197	28.9%	68,500	29.8%	+0.4%
営業利益	20,576	8.7%	17,000	7.4%	-17.4%
経常利益	20,575	8.7%	16,500	7.2%	-19.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,256	5.2%	10,000	4.3%	-18.4%
為替 レート	ドル	111 円	110 円		
	ユーロ	128 円	125 円		

海外市場

欧米を中心に金融市場ではセルフオペレーション化、
リテール市場では現金管理の厳正化ニーズが拡大

米州	金融	北米でTCRの更新需要が拡大
	リテール	米国での販売体制の強化などにより大口商談の獲得を目指す。 その他国での販売実績も拡大傾向。
欧州	金融	スペイン、新興国等でTCRの更新需要の拡大を見込む。
	リテール	主要製品の販売は堅調継続。進行中の大口商談の獲得を推進。
アジア	金融	TCRの新規顧客の開拓および紙幣整理機の更新需要の拡大を見込む。 中国では紙幣整理機の販売拡大を見込む。
	リテール	主要国での販売拡大を見込む。
OEM		ATMの需要減少を受け、紙幣リサイクルユニットの販売は不透明感な状況。

国内市場

金融機関の店舗改革および流通市場の人手不足対応ニーズが拡大

金融市場

オープン出納システムの大口更新の反動はあるが、金融機関の更新需要は高い。
金融機関の店舗改革ニーズは増加傾向。

流通・交通
市場

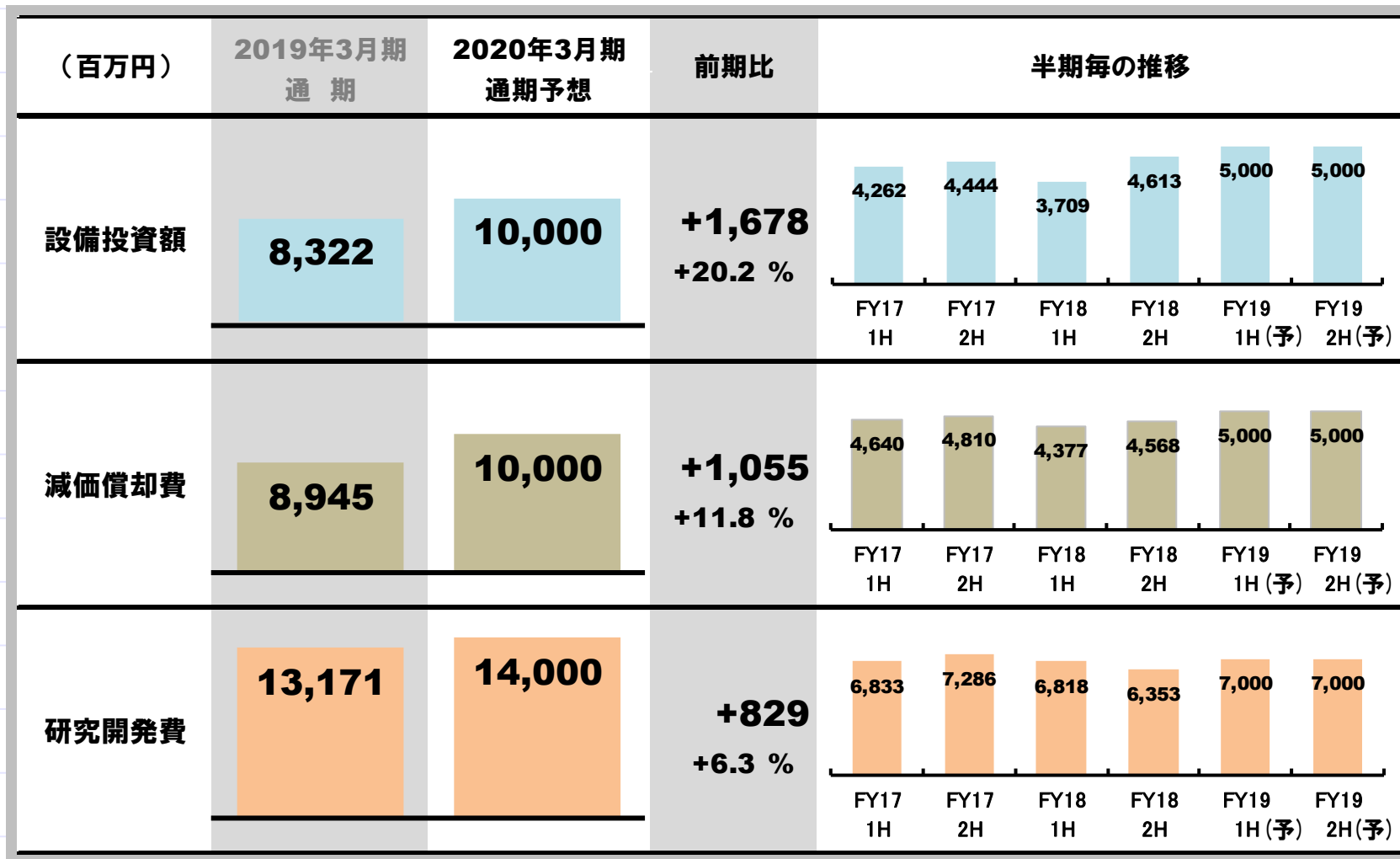
レジつり銭機はCVS向けの反動はあるが、セルフレジ向けつり銭機も含め販売の拡大を見込む。
警送市場では、ソリューション提案による販売拡大を見込む。

遊技市場

管理遊技機及びメダルレススロットの動向により、買い控えが発生することを予想。

(百万円)	売上高			営業利益		
	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期予想	前期比	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期予想	前期比
海外市場	103,287	115,000	+11,713 +11.3 %	8,761	11,500	+2,739 +31.3 %
金融市場	56,636	46,000	-10,636 -18.8 %	6,764	3,800	-2,964 -43.8 %
流通・交通 市場	51,985	47,000	-4,985 -9.6 %	4,611	3,300	-1,311 -28.4 %
遊技市場	20,511	19,000	-1,511 -7.4 %	1,959	900	-1,059 -54.1 %
その他	3,341	3,000	-341 -10.2 %	-1,521	-2,500	-979 - %
合計	235,762	230,000	-5,762 -2.4 %	20,576	17,000	-3,576 -17.4 %

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比	現地通貨ベース
	通 期			
米州	36,728	43,000	+6,272 +17.1 %	+18.1%
欧州	43,140	48,000	+4,860 +11.3 %	+14.3%
アジア	14,757	16,500	+1,743 +11.8 %	-
中国	5,578	6,500	+922 +16.5 %	+18.7%
OEM	8,661	7,500	-1,161 -13.4 %	-13.4%
合 計	103,287	115,000	+11,713 +11.3 %	-



4 2020中期経営計画 進捗状況

2020中期経営計画の目指すべき姿

持続可能な事業運営の基盤づくり（既存事業）

- ・強固な顧客基盤の徹底的な深掘りによる成長の再加速

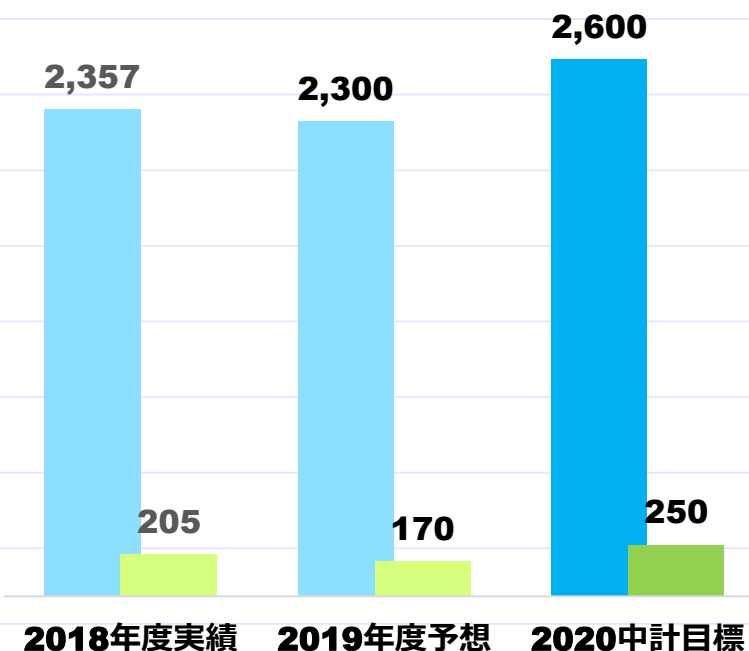
社会課題に向けた協働の取り組み強化（新規事業）

- ・モノ（ハードウェア）からコト（ソリューション/サービス）へのビジネスモデルの変革
- ・生体・画像認識事業、ロボットSI事業の収益化

業績目標	2018年度 (実績)	2019年度 (予想)	2020年度 目標
売上高	2,357 億円	2,300 億円	2,600 億円
営業利益	205 億円	170 億円	250 億円
営業利益率	8.7 %	7.4 %	9.6 %
ROE	6.5 %	5.4 %	8.0 %
基準ドル レートユーロ	111円(実績)	110円(計画)	110円(計画)
	128円(実績)	125円(計画)	120円(計画)

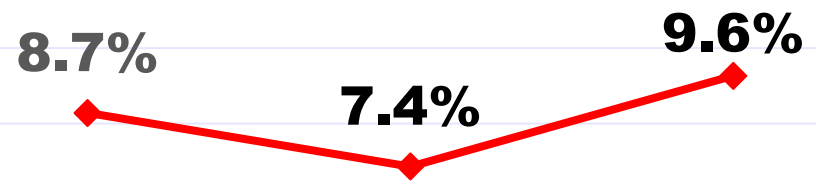
(億円)

■ 売上高 ■ 営業利益



セグメント別業績目標

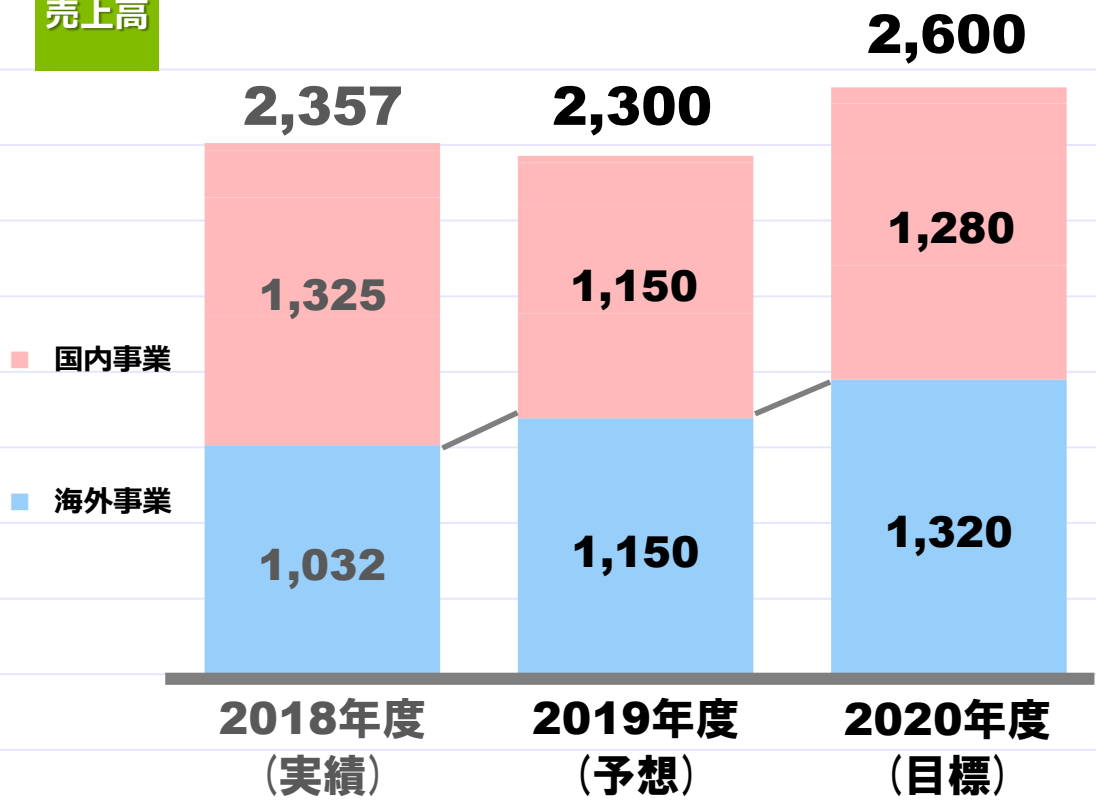
営業
利益率



営業利益率
(2017年度比較)

+1.0ポイント

売上高
(億円)



国内事業成長率
(2017年度比較)

+6.1%
(年平均+2.0%)

海外事業成長率
(2017年度比較)

+23.7%
(年平均+7.4%)

方針1 持続可能な事業運営の基盤づくり

市場の変化に柔軟に対応したソリューション提案の推進

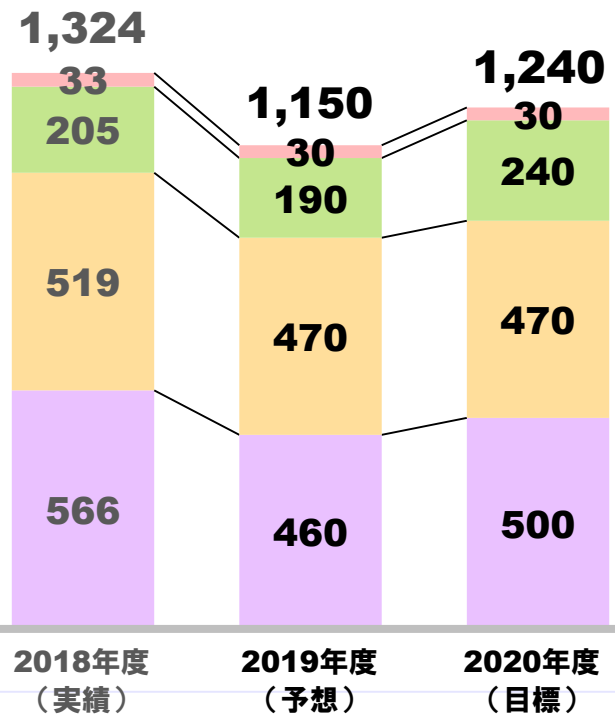
－ 次世代店舗スタイルの実現、非現金事業分野の拡大 －

セグメント別売上高

重点施策

(単位：億円)

■ 金融 ■ 流通・交通 ■ 遊技 ■ その他



【共通】

顧客ニーズに応じた戦略の立案、実行

【金融】

- ・次世代店舗スタイルを実現する製品の販売拡大
- ・主要商品の裾野拡大

【流通・交通】

- ・レジつり銭機のシェア拡大
- ・非現金事業分野の販売拡大
→電子決済、帳票処理、生体認証

【遊技】

ソリューション提案の強化による収益拡大

提案する
ソリューション

- 金融機関の収益拡大：後方事務の削減で来客対応に注力/少人数店舗運営
- 来店客の満足度向上：セルフオペレーションによる待ち時間軽減

1~3

年後の
理想店舗像

「スマート店舗」

店舗を大きく4つに分類し効果的な戦略を提案。
後方事務をゼロにすることで人材と時間を捻出。
来客に対しての店頭セールスに注力できる体制。

小型店舗



機械化店舗



海外事例

2人体制で運用する店舗



ポストバンク

提案する
ソリューション

- 金融機関の収益拡大：後方事務の削減で来客対応に注力/少人数店舗運営
- 来店客の満足度向上：セルフオペレーションによる待ち時間軽減

現金管理ソリューション



オープン出納システム

金庫レスソリューション



重要物管理機

窓口ソリューション



セルフオペレーションコーナー



オープン出納システム 税公金ステーション



印鑑照合システム

【店舗施工売上高】

- 2018年度実績：8億円
- 2019年度予想：12億円

提案する
ソリューション

- 小売店等の収益向上： 煩雑な精算業務の効率化と人手不足の解消
- 来店客の満足度向上： 多様な決済手段の提供とレジ待ち時間の軽減

■ 人手不足への対応

■ 多様な決済手段への対応

(クレジットカード・電子マネー・QRなど)

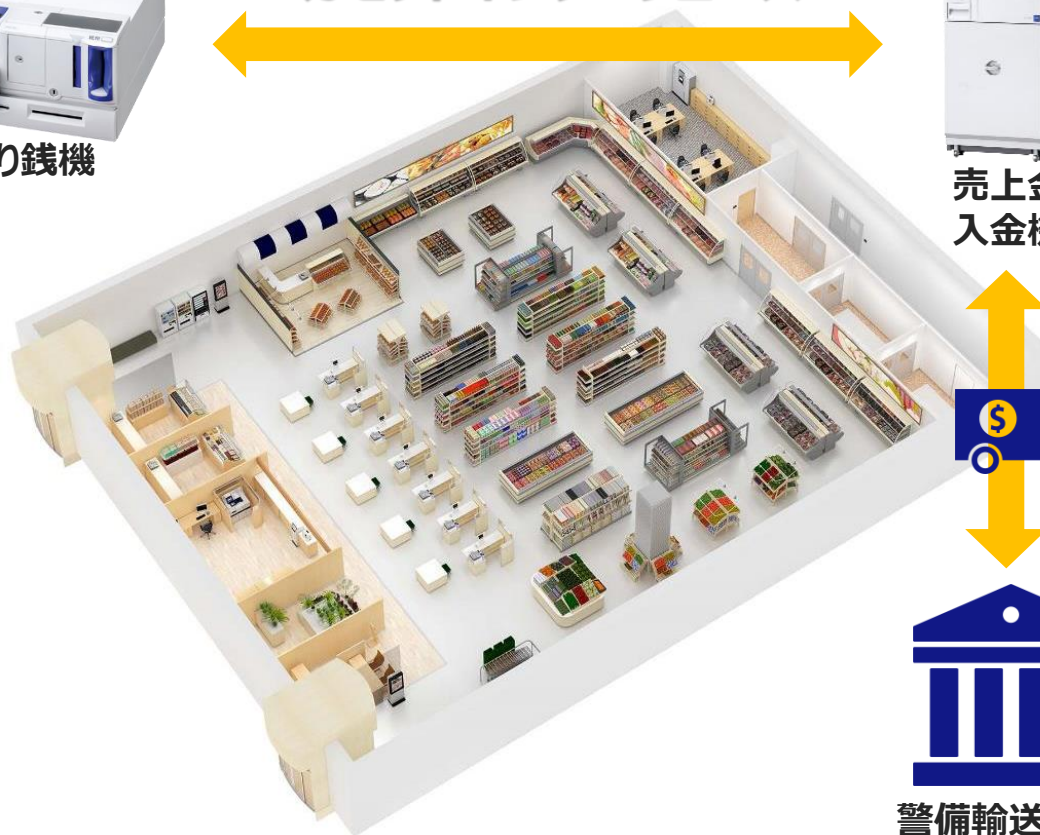


電子マネー決済端末



レジつり銭機

カセットインターフェース



■ 現金管理の効率化



売上金
入金機



重要物
管理機



グローリーの
情報処理センター



警備輸送会社

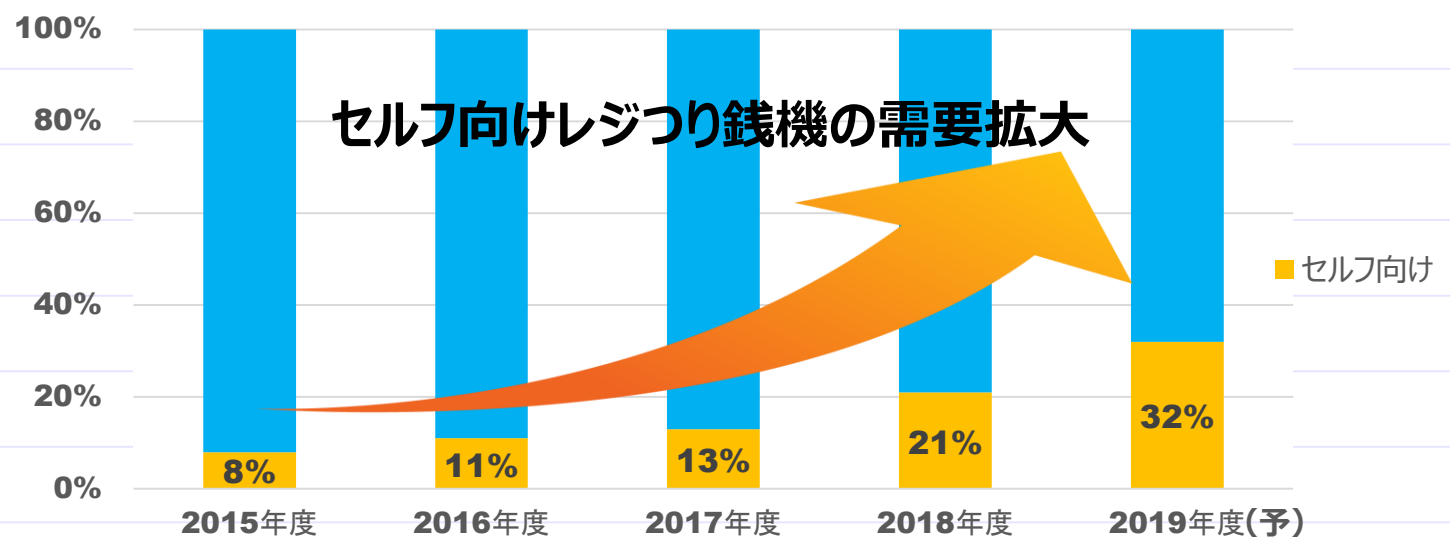
提案する
ソリューション

- 小売店等の収益向上 : 煩雑な精算業務の効率化と人手不足の解消
- 来店客の満足度向上 : 多様な決済手段の提供とレジ待ち時間の軽減



セルフレジ向けつり銭機

セルフ向けつり銭機 販売動向



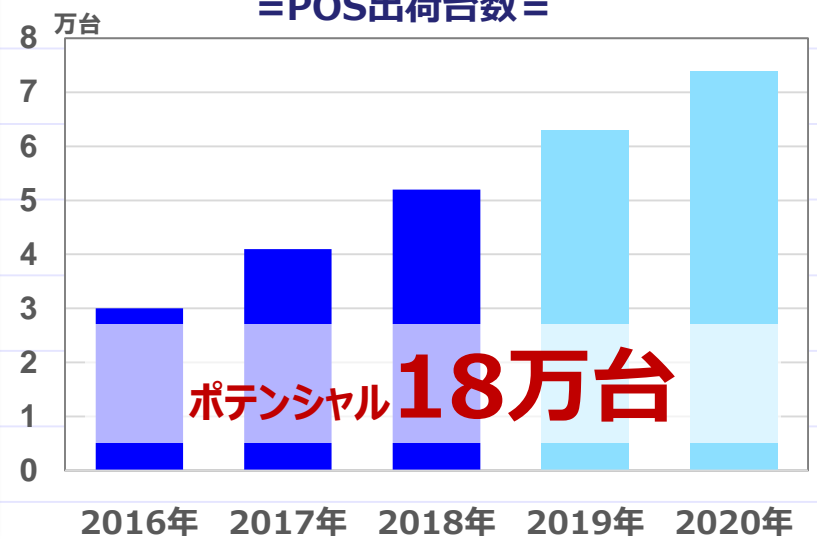
提案する
ソリューション

- 小売店等の収益拡大：煩雑な精算業務の効率化と人手不足の解消
- 来店客の満足度向上：レジ待ち時間の削減



レジつり銭機市場の裾野の拡大

◆ タブレットPOS市場の拡大 ◆
= POS出荷台数 =



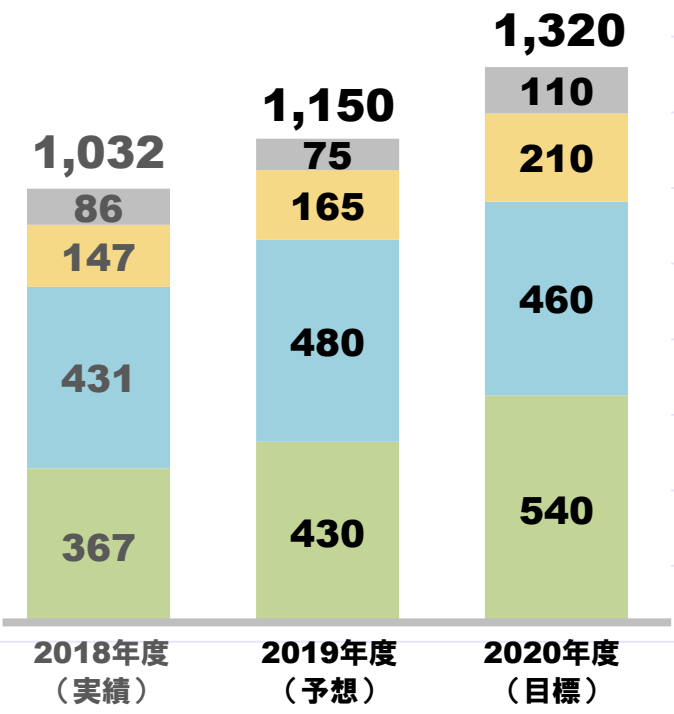
方針1 持続可能な事業運営の基盤づくり

セルフオペレーション化による金融事業の再成長とリテール事業のさらなる加速

地域別売上高

(単位：億円)

■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア ■ OEM



重点施策

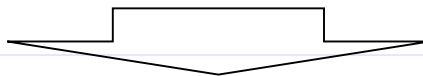
- 【共通】**
 - ・ 戦略的パートナーシップの構築による販売拡大
 - ・ コスト対応力の強化
 - ・ テンプレート対応の迅速化
 - ・ 重点地域における直販・直保守体制の強化
- 【欧米】**
 - (金融) TCRの浸透率向上及びセルフ市場の開拓
 - (リテール) バックオフィス市場の拡販強化とフロント市場への参入
- 【アジア】**
 - (金融) 主要国での*TCRの販売拡大
 - (リテール) 高度成長期待国への投資
- 【OEM】**
 - 販売チャネルの強化によるATMユニットの販売拡大

【直販・直保守体制の強化】

- ・ イタリア CTS Solutions S.r.l.買収
- ・ メキシコ 販売代理店 Grupo Sortek, S.A.de C.V.を買収

欧米
金融機関の動向





・支店数の減少 / 人件費の高騰 / デジタル化

提案する
ソリューション

- 金融機関の収益拡大： 少人数での店舗運営および現金管理の厳正化
- 来店客の満足度向上： 銀行手続きの効率化による待ち時間の軽減



主要国の金融機関店舗数の変化

	2014年度		2016年度
 U.S.A.	10万8,000店	➡	9万8,900店
 フランス	4万1,397店	➡	3万4,603店
 イタリア	4万3,973店	➡	3万9,200店
 ドイツ	3万2,800店	➡	3万1,300店

提案する
ソリューション

- 金融機関の収益拡大：少人数での店舗運営および現金管理の厳正化
- 来店客の満足度向上：銀行手続きの効率化による待ち時間の軽減

**TellerInfinity™**

顧客自らが操作するシステム製品による
ソリューション提案を推進

**【主な機能】**

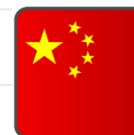
- ・硬貨、紙幣の入出金
- ・小切手の入出金
- ・自行、他行への送金
- ・公共料金の支払

窓口用紙幣入出金機

窓口業務を効率化する
システム製品による
ソリューション提案を推進



セルフ複合機として
需要が拡大



セルフ機、セルフ複合機として
需要が拡大



提案する
ソリューション

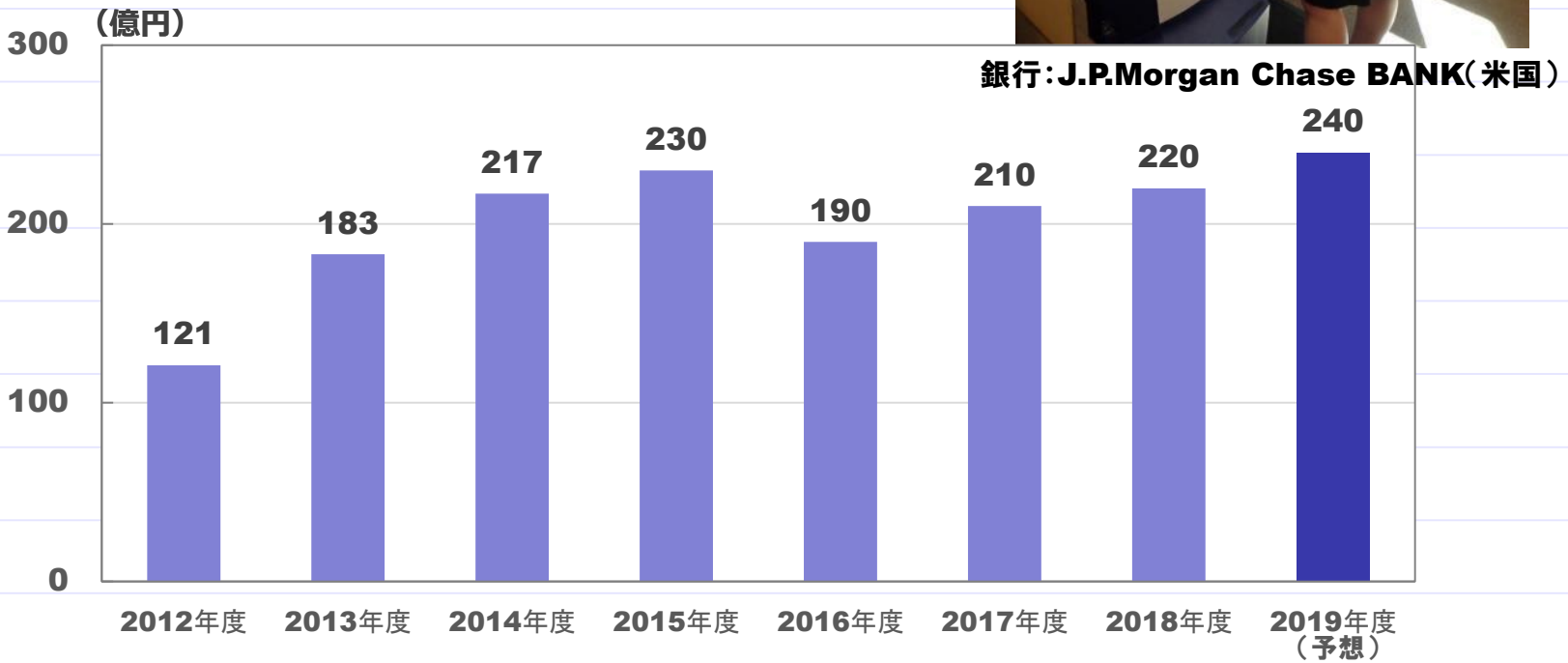
- 金融機関の収益拡大： 少人数での店舗運営および現金管理の厳正化
- 来店客の満足度向上： 銀行手続きの効率化による待ち時間の軽減



RBGシリーズ



Varteraシリーズ



欧米
リテールの動向

・現金管理コストの見直し / 人件費の高騰 / 決済の多様化

提案する
ソリューション

- 小売店等の収益拡大 : 少人数での店舗運営および現金管理の厳正化
- 来店客の満足度向上 : レジ待ち時間の軽減



紙幣硬貨入出金機



バックオフィス

カセット
インターフェース




レジ周辺




レジつり銭機

世界の小売企業トップ20

米国：10社 欧州：7社 アジア：3社

	リテラー	売上高 (US \$ M)	店舗数
	Walmart 	500,343	11,300
	Costco Wholesale Corporation 	129,025	768
	The Kroger Co. 	118,982	2,764
	Amazon.com, Inc 	118,573	約10
	Schwarz Group 	111,766	約10,000
	The Home Depot, Inc. 	100,904	2,287
	Walgreens Boots Alliance, Inc. 	99,115	約18,500
	Aldi Einkauf GmbH & Co. oHG 	98,287	約10,000
	CVS Health Corporation 	79,398	約9,600
	Tesco PLC 	73,961	約6,800

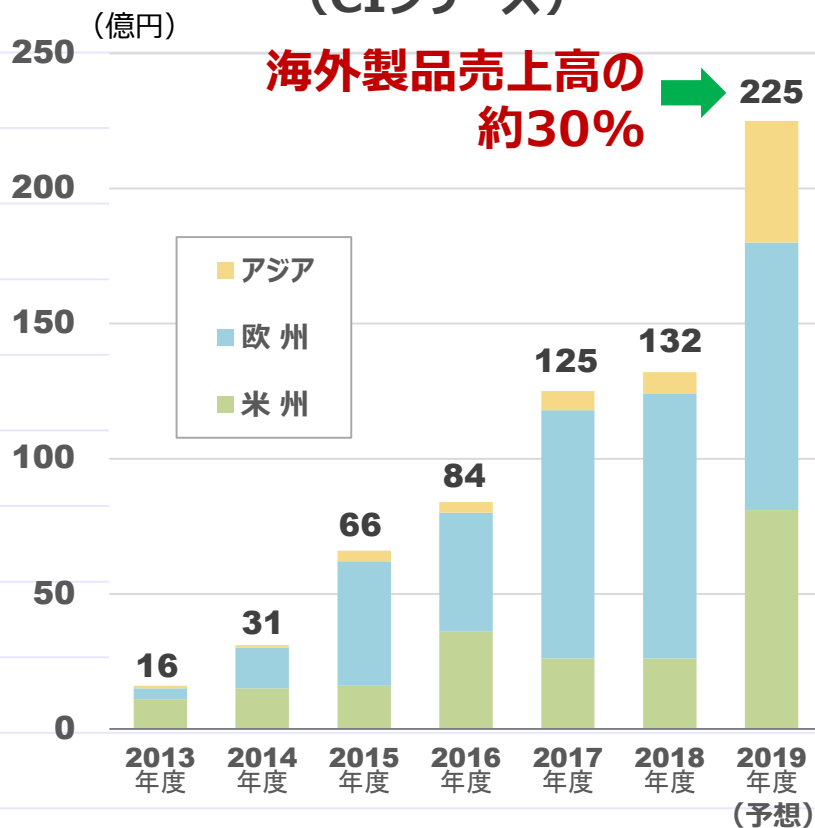
	リテラー	売上高 (US \$ M)	店舗数
	Ahold Delhaize 	72,312	6,769
	Target Corporation 	71,879	1,844
	Aeon Co., Ltd 	70,072	21,742
	Lowe's Companies, Inc. 	68,619	1,723
	Albertsons Companies, Inc. 	59,925	2,313
	Auchan Holding SA 	58,614	約4,000
	Edeka Group 	57,484	約3,700
	Seven & I Holding Co., Ltd 	51,889	67,600
	REWE Combine 	49,713	15,313
	JD.com, Inc. 	49,088	0

提案する
ソリューション

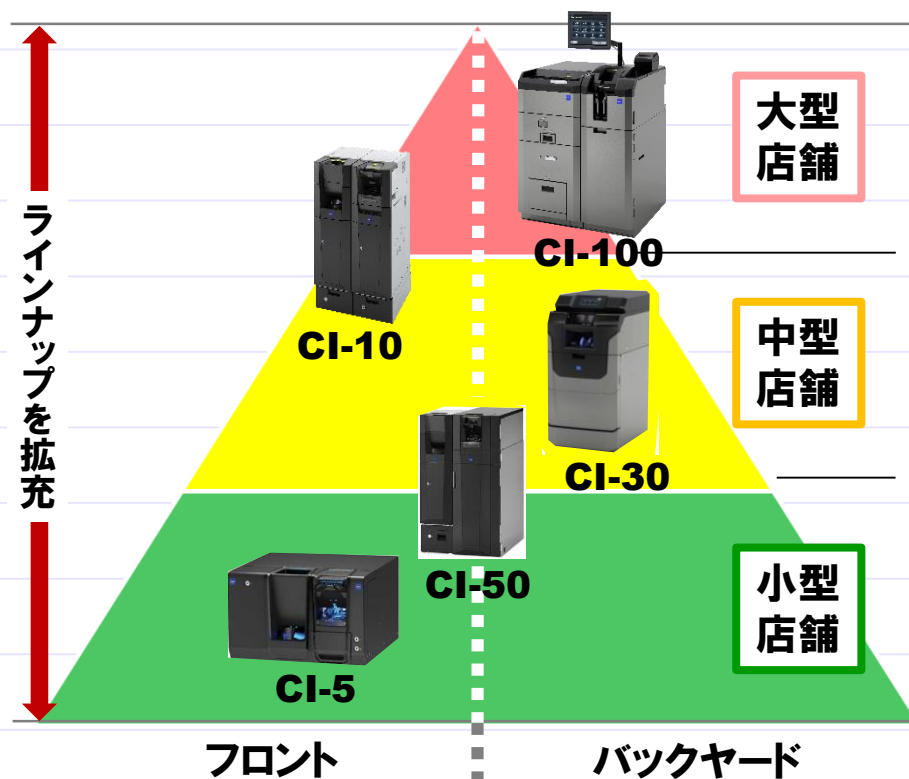
- 小売店等の収益拡大 : 現金管理の厳正化および少人数での店舗運営
- 来店客の満足度向上 : レジ待ち時間の軽減

大型店舗から個人店舗まで 様々な店舗形態に対応したCASHINFINITYシリーズを投入

リテール市場向け製品の売上高推移
(CIシリーズ)

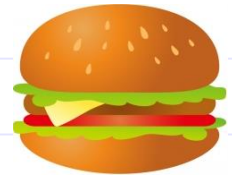


リテール市場のターゲット層





世界のリテールマーケットから見たアメリカ



リテール	ガソリンスタンド	スタジアムシート	ファストフード	カジノ	ホテル
<p>売上高 世界トップ10のうち7社</p>	<p>115,000店 (ドイツの10倍)</p>	<p>世界のスタジアムシートの30%</p>	<p>世界の96% (225,000店)が アメリカに本社を置く</p>	<p>1,954ヶ所 (世界NO1) 2位-10位までの国をすべてあわせても アメリカの店舗数が上</p>	<p>世界TOP20のうち16社が アメリカ本社</p>

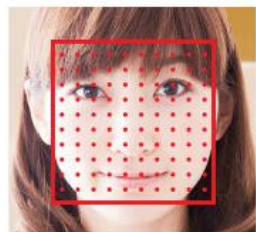
欧州 新たなビジネスモデルの試行



CASHINFINITY CI-5シリーズ



手ブラ決済の実現に向けて協業


FUETREK

顔認識・認証技術
音声認識技術
2018年12月
**フュートレックとの資本業務提携
(公開買付け後の所有割合40.50%)**

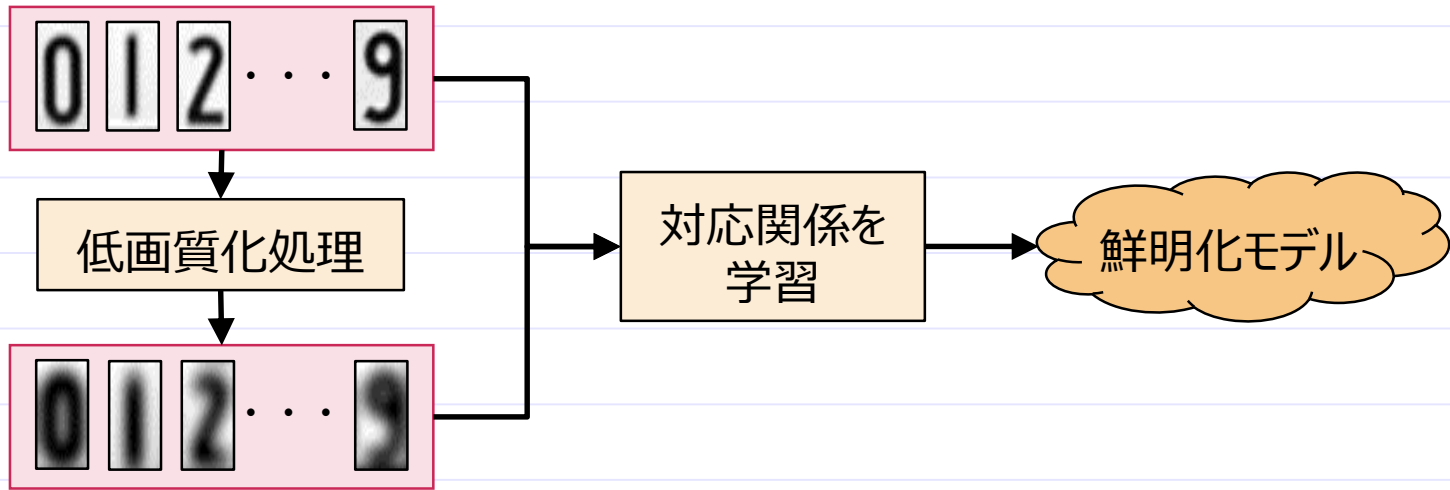
- 認識・認証技術に関するシナジーの創造
- 両社が持つアセット、顧客及び技術を有効活用した新規事業の開発
(フュートレック社の音声認識事業領域での技術、当社の高精度の組み込み技術等)
- 音声技術の新しいUX（ユーザーエクスペリエンス）、UI（ユーザーインターフェース）への活用 など
- 販売及び顧客開拓における相互協力
- 当社インフラ等経営資源のフュートレック社への提供


**手ブラ決済実証実験
(フュートレック社との共同プロジェクト)**

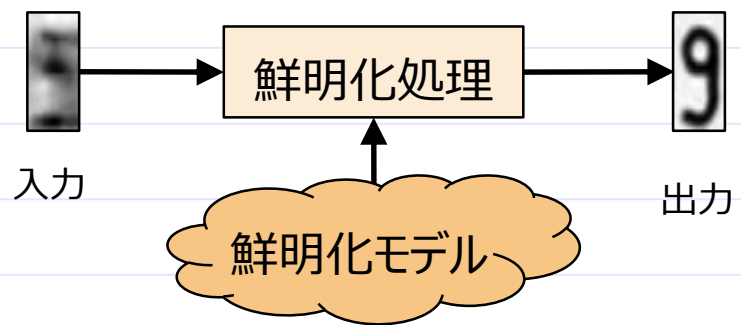

利用者はタブレット端末に向かってキーワードの「BioPayで決済」と発話するだけで手ぶらでの決済が完了。

ナンバープレート文字画像鮮明化技術を開発

- ・『**Deep Learning**』を使った鮮明化技術
 - ・ナンバープレートに特化することで『**高精度**』に鮮明化が可能
- 学習処理：高画質な画像を低画質化させて対応関係を学習し、鮮明化モデルを作る



- 鮮明化処理：鮮明化モデルを使って低画質な画像から高画質な画像を推定



ロボットSI事業の早期事業化への戦略

1. 有望市場

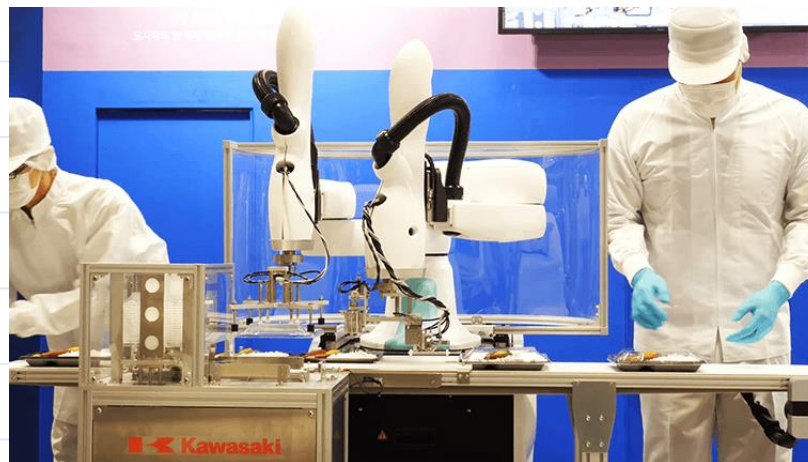
・化粧品・医薬品・食品業界向け梱包作業

2. 製品ラインナップの拡充

・DuAro 2の採用



NEXTAGE

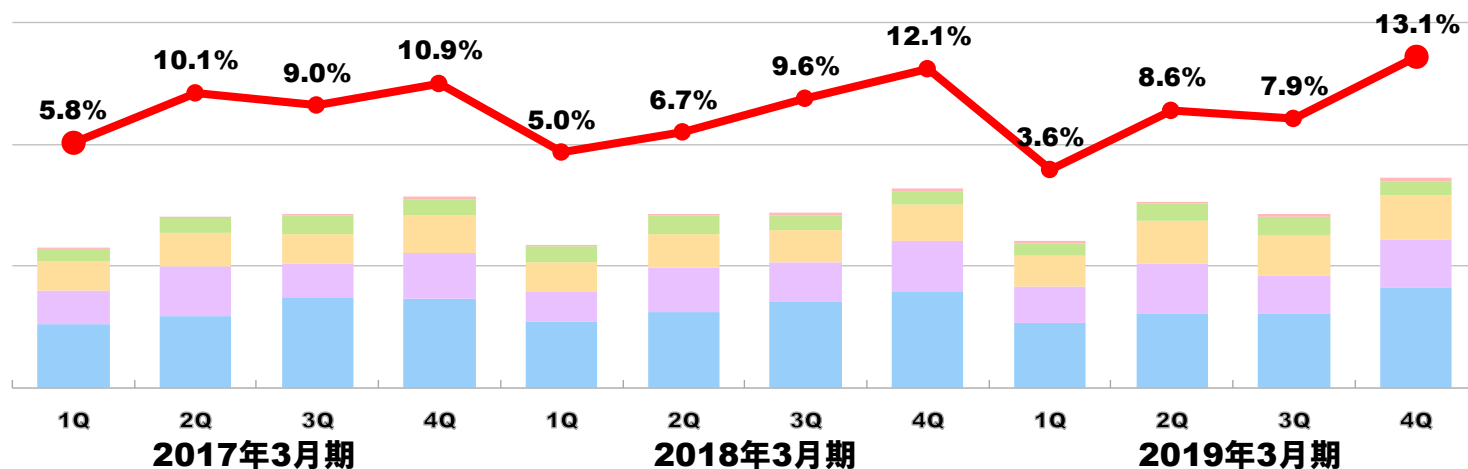


DuAro2

3. 保守サービスの強化

參考資料

セグメント別売上高/営業利益 (四半期)



(百万円)	2019年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
海外市場	21,447 23	24,392 1,164	24,621 1,648	32,827 5,926	103,287 8,761
金融市場	11,887 1,084	16,574 2,453	12,288 1,306	15,887 1,921	56,636 6,764
流通・交通市場	10,050 677	14,099 1,392	13,249 1,195	14,587 1,347	51,985 4,611
遊技市場	4,133 238	5,453 522	6,289 816	4,636 383	20,511 1,959
その他	713 -298	838 -244	770 -455	1,020 -524	3,341 -1,521
合計	48,232 1,725	61,355 5,286	57,217 4,511	68,958 9,054	235,762 20,576

上段：売上高
下段：営業利益

(百万円)	2018年3月期		2019年3月期		増減
	通期	売上高比率	通期	売上高比率	
売上高	227,361	100.0%	235,762	100.0%	+8,401
売上原価	140,174	61.7%	147,274	62.5%	+7,100
販売費及び一般管理費	67,570	29.7%	67,912	28.8%	+342
営業利益	19,615	8.6%	20,576	8.7%	+961
営業外収益	786	0.3%	1,052	0.4%	+266
営業外費用	2,848	1.3%	1,053	0.4%	-1,795
経常利益	17,553	7.7%	20,575	8.7%	+3,022
特別利益	159	0.1%	66	0.0%	-93
特別損失	174	0.1%	80	0.0%	-94
税金等調整前当期純利益	17,538	7.7%	20,562	8.7%	+3,024
法人税等	6,267	2.8%	7,007	3.0%	+740
当期純利益	11,271	5.0%	13,554	5.7%	+2,283
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,892	4.4%	12,256	5.2%	+2,364

当期純利益	11,271	5.0%	13,554	5.7%	+2,283
その他有価証券評価差額金	93		-692		-785
為替換算調整勘定	-2,041		1,603		+3,644
退職給付に係る調整額	1,182		-650		-1,832
その他の包括利益合計	-765	-0.3%	265	0.1%	+1,030
包括利益	10,506	4.6%	13,820	5.9%	+3,314

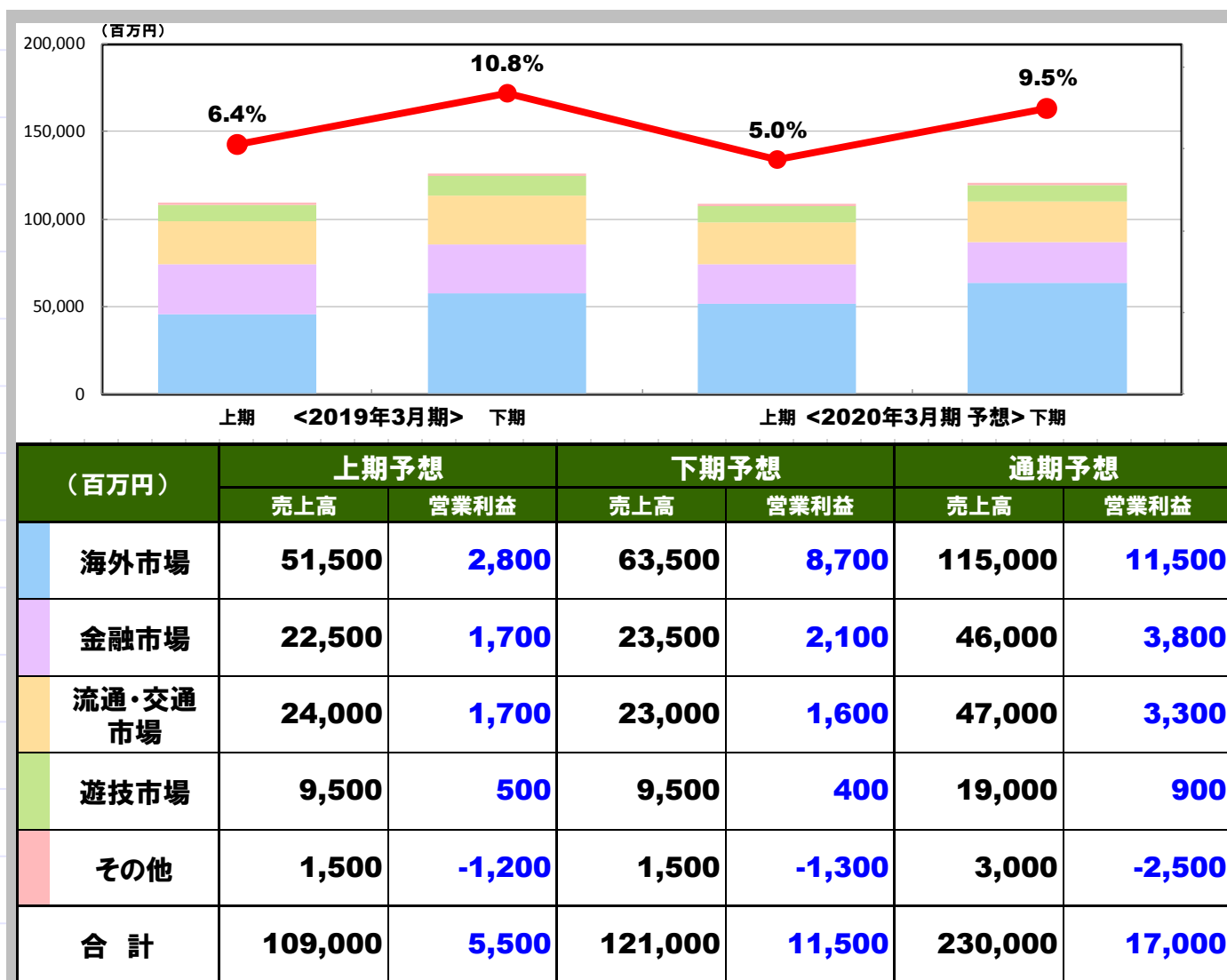
貸借対照表 前期末比

(百万円)	2018年3月末	2019年3月末	増減	(百万円)	2018年3月末	2019年3月末	増減
現預金・有価証券	63,154	75,884	+12,730	買掛債務	20,106	18,475	-1,631
売掛債権	54,275	58,087	+3,812	短期借入金	30,751	27,845	② -2,906
棚卸し資産	51,362	48,526	-2,836	その他	40,763	44,147	+3,384
その他	5,956	5,646	-310	流動負債合計	91,620	90,467	-1,153
流動資産合計	174,747	188,143	+13,396	長期借入金	4,508	0	② -4,508
有形固定資産	34,509	34,829	+320	その他	14,531	34,503	+19,972
顧客関係資産	19,683	19,108	① -575	固定負債合計	19,039	34,503	+15,464
のれん	45,113	44,245	-868	負債合計	110,660	124,971	+14,311
その他	5,976	6,437	+461	資本金	12,892	12,892	0
無形固定資産	70,774	69,791	-983	利益剰余金	165,380	172,219	+6,839
その他	22,794	25,464	+2,670	その他	13,893	8,146	-5,747
固定資産合計	128,078	130,084	+2,006	純資産合計	192,165	193,257	+1,092
資産合計	302,825	318,228	+15,403	負債純資産合計	302,825	318,228	+15,403

①顧客関係資産、のれんは順調に減少。

②有利子負債は借入金の返済等により減少。

(百万円)	2018年3月期 通期	2019年3月期 通期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	14,585	24,300	+9,715
投資活動によるキャッシュフロー	-8,609	-11,388	-2,779
フリーキャッシュフロー	5,976	12,912	+6,936
財務活動によるキャッシュフロー	-23,574	-361	+23,213
現金及び現金同等物に係る 換算差額	-234	146	+380
現金及び現金同等物の増減額	-17,832	12,697	+30,529
現金及び現金同等物の 期末残高	62,375	75,149	+12,774



<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。